

【第一回 ラインマンに関する認知調査】**暮らしを支える「ラインマン」を知っている人は 1 割強どまり****6 割が「不可欠な仕事」と回答する一方、「社会貢献できる」は 2 割と少数****～業界の情報発信が鍵、脱炭素化社会の実現に向け人材不足解消が急務～**

株式会社 ETS ホールディングス（東京都豊島区、代表取締役 加藤慎章、以下「ETS」）は、全国 844 人の 20 代～50 代の男女を対象に送電線工事を担う「ラインマン」についての認知度調査を実施しました。

【調査背景】

世界的なカーボンゼロ達成に向けた動きが加速し、日本においても洋上風力や太陽光などの再生エネルギー導入拡大が進む中、発電された電気を必要箇所に安定的に届けるための鉄塔・送電線整備などは必要不可欠です。また、日本の鉄塔・送電線の多くは高度経済成長期に建てられており、平均耐用年数は 50～60 年といわれているため、現在運用している送電線設備の点検・建て替え工事への着手は急務とされています。一方で、現在の送電線の建設・保守を行うラインマンの人材不足・高齢化が深刻化しています。

これらの背景から、脱炭素社会の実現へ向け、日本のインフラを支えるラインマンの認知向上、人材不足問題の解消を目的として、本調査の実施に至りました。

【調査サマリー】

調査の結果、「ラインマン」を知っている人は 1 割強のみと、社会インフラを支える仕事である一方、その存在・認知度に関しては著しく低い結果となりました。

また、ラインマンへのイメージに関して、6 割の人はラインマンの仕事を「必要不可欠な仕事」だと思っている一方、「社会貢献ができるやりがいのある仕事」だと捉えているのはわずか 2 割に留まり、また「給料が良さそう」が 2 割、「若手が活躍できそう」は 1 割と、働く魅力に繋がるイメージも低い結果となり、5 割が「高所作業が多い仕事」、4 割が「体力が必要な仕事」と回答していることから、ラインマンへのイメージは生活を支える仕事ではあるが、社会貢献に繋がらず、大変で魅力もない仕事というイメージが強いことが明らかになりました。

これらの結果から、ラインマンの人材不足問題を解消するには、ラインマン自体の認知を上げていくことはもちろん、職業に対する魅力を訴求、イメージ向上を図っていく必要があることが明らかになりました。

【主なトピックス】**1. ラインマンの認知度は 1 割強、特に 40 代以上は 1 割未満とさらに低い結果に**

最も重要なライフラインである電気の通り道を作り、社会を支えているラインマンの認知度の低さが明らかに。

2. ラインマンを知ったきっかけは「身近にラインマンがいるから」が半数

「ラインマンが作業をしている所を見たことがあるから(41.4%)」との回答も多かった一方、「TV や新聞・雑誌でラインマンに関する記事を見たから(27.3%)」「SNS などラインマンに関する情報を見たから(25.8%)」など、メディアや SNS などの情報からラインマンを知った人が意外にも多い。

3. ラインマンを知っている人の 9 割強は災害時や非常時にラインマンが活躍していることを認知

4. 6 割がラインマンは「必要不可欠」とする一方、「社会貢献ができる」と回答したのは 2 割止まり

社会インフラを支える必要不可欠な仕事と捉えている一方、社会貢献ができるというイメージを持っておらず、理解不足の実態も。また、「専門的な知識が必要な仕事 (46.0%)」「高いところに登って作業をする仕事 (45.7%)」「体力が必要な仕事 (40.8%)」と大変さや過酷なイメージに繋がる回答が多く、「給料が良さそうな仕事 (15.9%)」「若手が活躍できそうな仕事 (11.3%)」と働く魅力に繋がるイメージが低い。

5. ラインマンの人材不足を知っている人は 2 割、40 代以上は 1 割との結果に

20 代は約 3 割(32.8%)が、40 代以上は約 1 割(13.3%)と、若い人ほどラインマンの人材不足を理解している実態も明らかに。ラインマンを知ったきっかけを年代別で見ると、若い世代では SNS やメディア経由が高かった点が特徴。

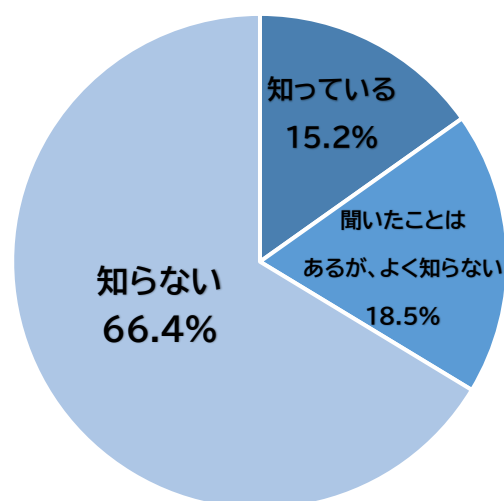
6. ラインマンに対する意見やエピソードについて

【調査結果詳細】

1) ラインマンの認知度は 1 割強、特に 40 代以上は 1 割未満とさらに低い結果に

ラインマンという職業を「知っている」と答えた方は 1 割強 (15.2%) でした。最も重要なライフラインである電気の通り道を作り、社会を支えているラインマンの認知度の低さが明らかになりました。また、ラインマン認知度合いを年代別で見ると、「知っている」と答えた 20 代は 2 割強(24.1%)であるのに対し、40 代以上は 1 割未満(7.7%)の結果となり、年代により差がある結果となりました。

Q1.送電線工事などを担う「ラインマン」という職業を知っていますか？ (N=844)

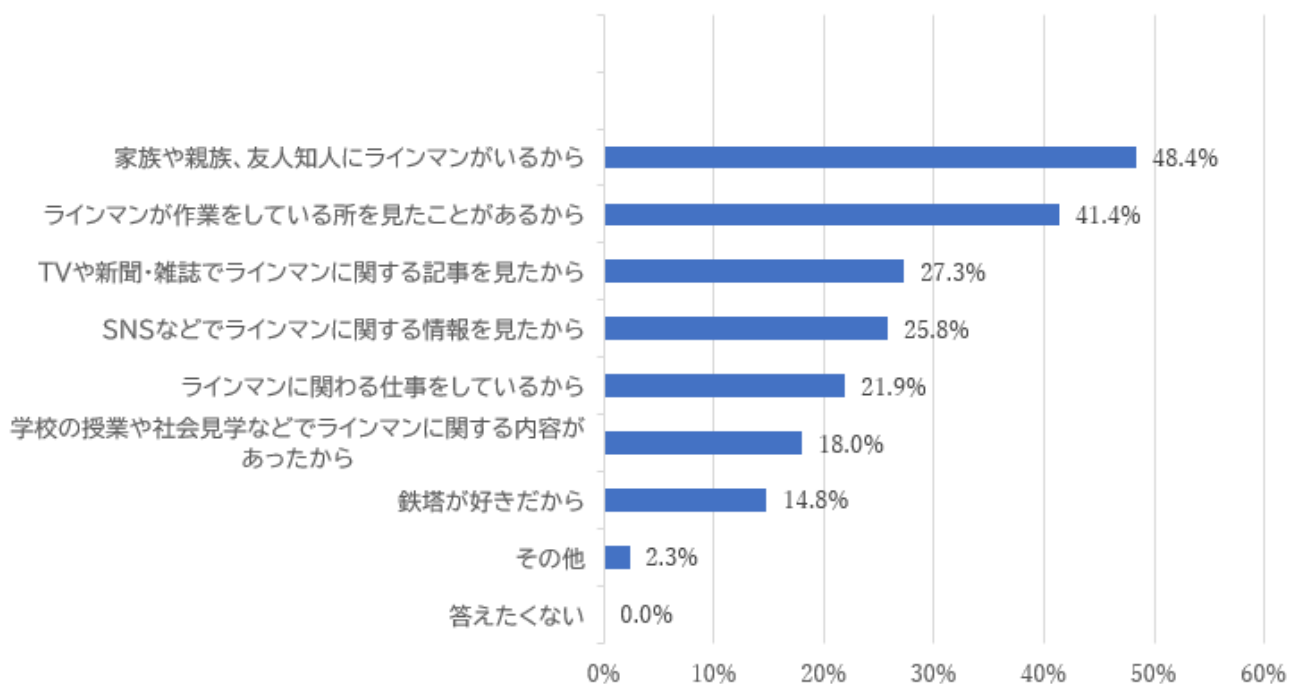


		n	知っている	聞いたことはあるが、よく知らない	知らない
全体		844	15.2%	18.5%	66.4%
年代	20歳～29歳	232	24.1%	22.0%	53.9%
	30歳～39歳	221	19.0%	18.1%	62.9%
	40歳～49歳	181	7.7%	16.0%	76.2%
	50歳～59歳	210	7.6%	17.1%	75.2%

2) ラインマンを知ったきっかけは「身近にラインマンがいるから」が半数

Q1で「知っている」と回答した人を対象に、ラインマンを知ったきっかけ・理由を聞いたところ全体の約5割(48.4%)が「家族や親族、友人知人にラインマンがいるから」と回答、次に約4割(41.4%)で「ラインマンが作業をしている所を見たことがあるから」、次いで約3割(27.3%)で「TVや新聞・雑誌でラインマンに関する記事を見たから」、同じく約3割(25.8%)で「SNSなどでラインマンに関する情報を見たから」と続き、メディアやSNSなどの情報から知った人が意外にも多いことが明らかになりました。

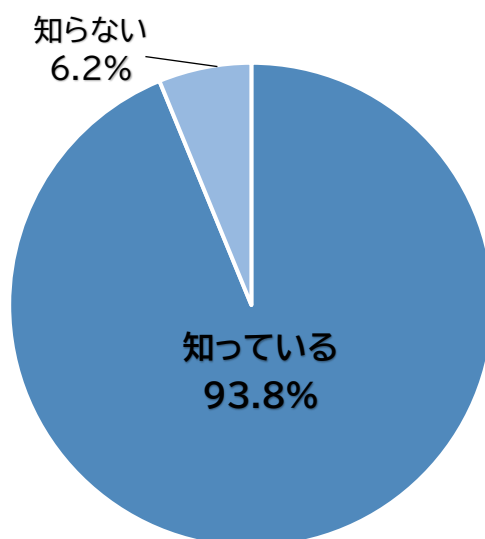
Q2.Q1で「知っている」と答えた方にお尋ねします。ラインマンを知ったきっかけ、知った理由を教えてください (N=128) ※複数回答



3) ラインマンを知っている人の9割強は災害時や非常時にラインマンが活躍していることを認知

Q1で「知っている」と回答した人を対象にラインマンが災害時や非常時にいち早く現場に向かい電気が通っていることを知っているか聞いたところ、約9割（93.8%）が「知っている」と回答。ラインマンを認知しているほとんどの人は災害時や非常時の活躍を把握していたのが明らかになりました。

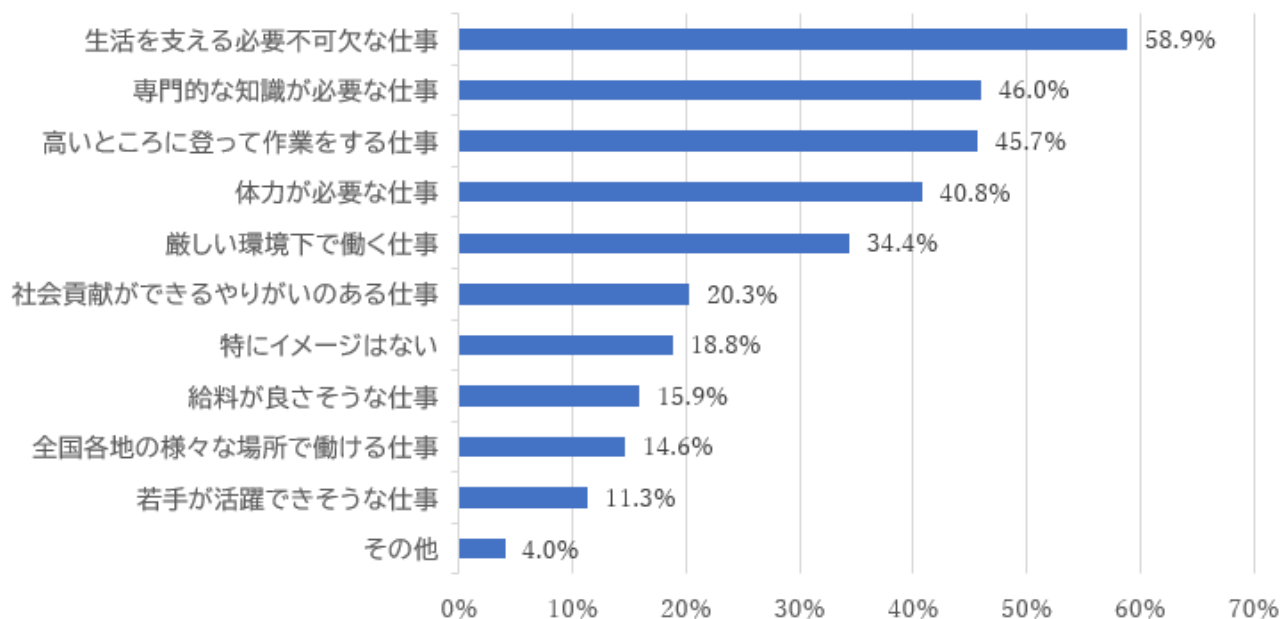
Q3.Q1で「知っている」と答えた方にお尋ねします。ラインマンは、災害時や非常時などに異常が発生していないかを確認するために、いち早く現場へ向かい、送電線の確認・点検を行っています。そのことを知っていますか？（N=128）



4) 6割がラインマンは「必要不可欠」とする一方、「社会貢献ができる」と回答したのは2割止まり

ラインマンへのイメージについて聞いたところ、「生活を支える必要不可欠な仕事」と回答した人が約6割（58.9%）を占めました。一方、「社会貢献ができるやりがいのある仕事」と回答したのは2割（20.3%）に留まり、「専門的な知識が必要な仕事（46.0%）」「高いところに登って作業をする仕事（45.7%）」「体力が必要な仕事（40.8%）」と大変さや過酷なイメージに繋がる回答が多く、「給料が良さそうな仕事（15.9%）」「若手が活躍できそうな仕事（11.3%）」と働く魅力に繋がるイメージが低いことから、ラインマンへのイメージは生活を支える仕事ではあるが、社会貢献に繋がらず、大変で魅力もない仕事というイメージが強いことが明らかになりました。

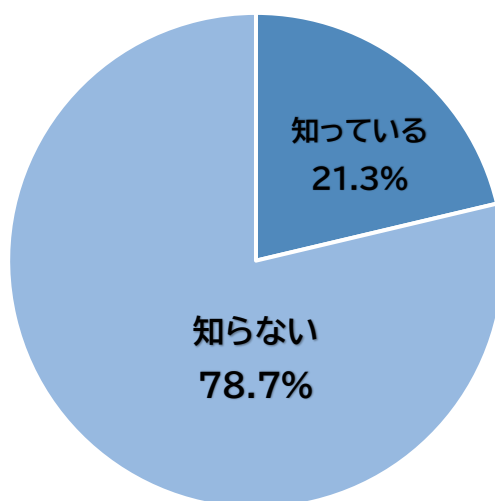
Q4.ラインマンにどのようなイメージを持ちますか？（日々の電力供給のために、鉄塔に登って鉄塔や電線の建設：点検・保守などを行う職業をラインマンと言います。）（N=844）※複数回答



5) ラインマンの人材不足を知っている人は2割、40代以上は1割との結果に

送電線工事に関わる人材が不足していることについて聞いたところ、「知っている」と回答したのは約2割（21.3%）となりました。また、年代別で見ると、20代は約3割（32.8%）が知っているという回答した一方、40代以上は約1割（13.3%）との回答となり、若い人ほどラインマンの人材不足を理解している実態が明らかになりました。

Q5 送電線や鉄塔の寿命・耐用年数は約50年～60年と言われており、多くは高度経済成長期に建てられた物であることから、現在運用している送電線や鉄塔の確認・点検工事や建て替え工事への着手は急務である一方、送電線工事に携わる人材は不足しています。送電線工事に携わる人材が不足していることを知っていますか？（N=884）



		n	知っている	知らない
全体		844	21.3%	78.7%
年代	20歳～29歳	232	32.8%	67.2%
	30歳～39歳	221	23.5%	76.5%
	40代以上	391	13.3%	86.7%

6) 鉄塔やラインマンに対する意見やエピソード

「危険が伴う仕事でありながら、私たち生活には必要不可欠な電気を支えてくれているイメージ」

「停電のときに、すぐ駆けつけてくれ、不便になってはじめて、感謝の気持ちが生まれた」

「台風が来た時に鉄塔の高いところで保守している姿はとても頼もしく思った」

「暑い日も寒い日も天候や季節に関係なしで作業していて凄い」

「地上から高い位置にある送電線の点検などインフラ維持に欠かすことのできないお仕事だと認識している。」

などラインマンへの感謝や良い意見が多数集まりました。一方で

「高所恐怖症だから縁のない仕事」

「若い人がやっているイメージがない」

などラインマンの人材不足の現状も読み取れました。

【株式会社 ETS ホールディングスについて】

株式会社 ETS ホールディングスは電力事業、設備事業、再生可能エネルギー事業の3本柱を軸にハイレベルな技術者、独自の開発技術、豊富な施工実績を強みとしております。今後は次の100年に向けて、電力工事・電気設備工事のパイオニアとして、脱炭素化社会の実現、次世代電気 通信技術、その他新分野へ果敢にチャレンジし、持続可能な地球を次世代へ繋ぐため、エネルギー問題の解決・脱炭素化社会に向けて貢献し、コアな技術を活かして新たな価値創造、変革と挑戦を続ける企業を目指します。

創業：大正11年（1922年）2月

設立：昭和10年（1935年）12月

代表：代表取締役社長 加藤慎章

資本金：9億8,966万円

事業：電力事業、設備事業、再生エネルギー事業

本社：東京都豊島区南池袋 1-10-13

URL：<https://ets-holdings.co.jp/>

本件に関するお問い合わせ先
株式会社 ETS ホールディングス 広報担当
深水(ふかみ:070-7789-8036)、石山(070-7464-5779)
TEL:03-5957-7661 FAX:03-5957-7691 MAIL:pr@ets-holdings.co.jp